地形図利用の基礎とオリジナルマップについて

最初から余談ですが、地形判断で田舎者の私が最も不得意としている所は、初めての地下街から出口を間違って出たビルの谷間です。自分がどちらに歩くべきなのか途方にくれます。日頃の多忙でバタバタが習慣になり、遭難することはないので油断して付近の地図を持たないのと、自分の現在いる位置がわからないのが大きな原因です。

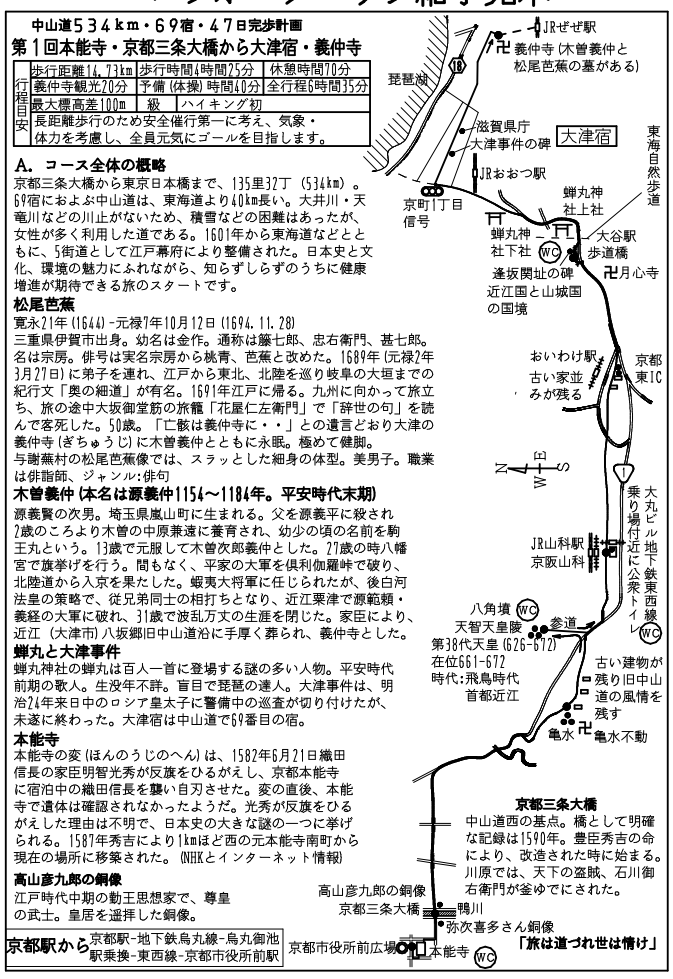
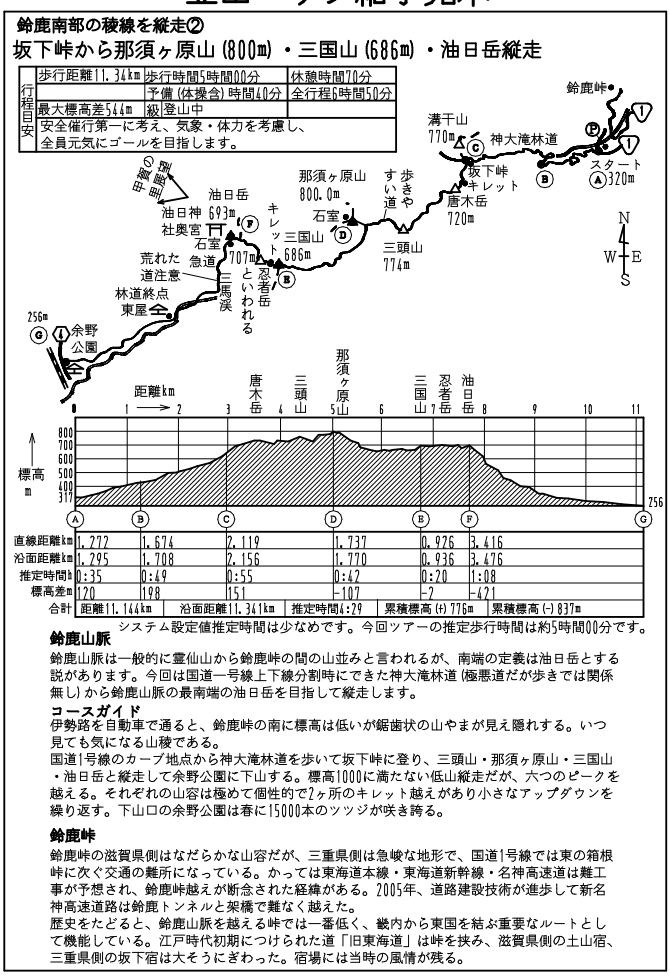
まず地図ですが、大きな書店で販売している、国土地理院発行の1/50,000・1/25,000の地形図が基本です。インターネットで入手も可能です。メジャーな山域では登山コースと所要時間を書いた地図が市販されています。これらの地図を携帯して、出発点を地形図から判断したり、休憩中にまわりの地形と地形図を見比べて地形図に慣れることをお勧めします。

ガイド付きで持って歩いて楽しい「オリジナルマップ」のご紹介

国土地理院の地形図や類似地形図は背景図利用でも著作権があり、自由に使用することはできません。弊社作成のオリジナルマップは、各種システムで叩き出したデータやインターネット情報などをまとめ、CADシステムを駆使して作成した、ほぼ比例尺の手作りマップです。ツアーマップとして大好評をいただいております。ITからの歴史情報は内容も深くほぼ正確でパソコン不得意な年齢層のお客様から大変喜ばれています。以下に縮小版の見本でご紹介します。

1. ハイキング・・・平面図に歩行ルートとコースのご案内、歩行距離と時間・休憩時間・予備時間・全体時間や、訪問先の歴史・文化・自然・歴史上の人物・観光素材などを記入しています。
2. 登山・・・・・・上記と同じ内容のほか、歩行距離と標高差のグラフを記入しています
3. ご注意・・・・・ガイドなしに歩ける精度はありませんが、ガイド動向の場合楽しい地図です。

ロマンウオークマップ縮小見本



登山マップ縮小見本